

Takako Takahashi Piano Recital

高橋多佳子 ピアノ リサイタル



©Shinichiro Saigo

幼い頃、フレデリック・ショパンの名曲「別れの歌」に心を奪われたことが、ピアノの道へ進む原点となったピアニスト・高橋多佳子。1988年に桐朋学園大学音楽学部を卒業後、国立ワルシャワ・ショパン音楽院に留学し、1991年に同音楽院研究科を最優秀で修了しました。その間、1990年にショパン国際ピアノ・コンクールで第5位入賞を果たし、その後は国内外の音楽祭への出演やコンクール審査員としても活躍し、高い評価を得ています。白馬公演では、フランツ・シューベルトの「楽興の時」D780 作品94より第3番へ短調をはじめ、ドビュッシー、ショパン、リストといった名だたる作曲家の作品を披露。繊細な表現力と深い音楽性で紡がれる豊かな響きが、白馬の自然と調和し、心に残るひとときをお届けします。

2026年 6月 28日 日

18時30分開場 / 19時開演

会場：協和ウイング白馬文化ホール

入場料：[全席自由] 2,000円（高校生以下 1,000円）

白馬ウイング21ホール友の会会員 1,000円

※未就園児のご入場はご遠慮ください。

QRコードからも
お申込みいただけます。



チケットのお求め：

協和ウイング白馬 / 生涯学習スポーツ課（ふれあいセンター3階） / 道の駅白馬 / アンプロムブテュ白馬 / 太田薬局 / 明寿堂 / 喫茶店ぶう
クリーニングのアピア（A-Coop） / 北村時計店（小谷村） / 一輪の華（小谷村） / 大町市文化会館

■主催：白馬ウイング21芸術文化シリーズ実行委員会

■後援：白馬村、白馬村教育委員会、白馬村観光局、白馬ウイング21ホール友の会 ■制作協力：（一社）長野芸術文化振興協会、ケーブルテレビ白馬

お問合せ：生涯学習スポーツ課 / ☎ 0261-85-0726 / E-Mail: gakushu@vill.hakuba.lg.jp

Takako Takahashi Piano Recital

■演奏者紹介：



©Shinichiro Saigo

高橋多佳子 / ピアノ

1990 年第 12 回ショパン国際ピアノ・コンクールで第 5 位に入賞し、一躍楽壇に飛び出したピアニスト。ショパン国際ピアノ・コンクールのほか、ポルト国際音楽コンクール第 2 位および現代音楽最優秀演奏賞、ラジヴィーウ国際ピアノ・コンクール第 1 位、第 22 回日本ショパン協会賞など、輝かしい受賞歴を有する。桐朋学園大学卒業、国立ワルシャワ・ショパン音楽院研究科を最優秀で修了。その後 10 年間にわたりポーランドで研鑽を積む。ソロ・リサイタルやオーケストラとの共演など、演奏活動は日本とポーランドを拠点にほぼ全ヨーロッパに及ぶ。国立ワルシャワ・フィルをはじめ、国内

では、新日本フィル、日本フィル、東京フィル、東響、東京都響、名古屋フィル、京都市響、日本センチュリー管、札幌響、九州響などの主要オーケストラと共演を重ね、常に高い評価を得ている。2010 年からは《生で聴く「のだめカンタービレ」の音楽会》全国ツアーに参加。オクタヴィア・レコードを中心に 26 タイトルの CD をリリースし、その多くがレコード芸術誌特選盤となる。ピアノデュオ『デュオ・グレイス』、『TAKAKO× (クロス) MISAKO』、ピアノトリオ『椿三重奏団』などのメンバーとしても活動。世界の著名国際音楽祭への出演や中国での演奏と講演、《青少年ショパン国際コンクール》(ポーランド) や《ラフマニノフ国際コンクール》(ロシア) の審査員としての招聘など、ますます国際的に意欲的な活動を展開している。

プログラム

シューベルト：楽興の時 D780 作品 94 より 第 3 番 ヘ短調

シューベルト：即興曲 D899 作品 90 より 第 4 番 変イ長調

シューベルト：ピアノソナタ 第 21 番 変ロ長調 D960 より 第 1 楽章

ドビュッシー：2つのアラベスクより第 1 番

ドビュッシー：喜びの島

休憩

ショパン：ノクターン 第 2 番 変ホ長調 作品 9-2

ショパン：ワルツ 第 9 番 変イ長調 作品 69-1 「別れのワルツ」

ショパン：バラード 第 3 番 変イ長調 作品 47

リスト：超絶技巧練習曲より第 12 番 「雪あらし」

リスト：ハンガリー狂詩曲 第 2 番